

シチューだらけだよ

作詞 岡本 悠／作曲 岡本 悠

- 1、この声のすむ街で 怒りの炎が燃え盛る
あの少年達の声みたいに
俺達は 生きていた

慰めることも知らずに 夢を語り合い
揺れる心で 君を追っかけた
流れる涙は 僕達のせいじゃないと
ずっと 訴えている

燃える灯りが すべてを作り
しらばくれた裏側
野菜をよく食べる 少年みたいに
街を譲ったなら

シチューだらけだよ WOW WOW
シチューだらけだよ
シチューだらけだよ WOW WOW
シチューだらけだよ

その丘の中へと すり抜ける
お前達が走り出して
あっちの橋へと 向かってゆく
愚かな 男達の歌

- 2、古びた看板に 血が流れていた
働くお前の手首に
「死」の文字が 浮かんでいたなら
それは「別れ」を指すのだろう...

夕暮れに涙した 懐かしき寺小屋
本当に寂しかった...
帰って来た 己の姿を
家族は見捨てたのか...

シチューだらけだよ WOW WOW
シチューだらけだよ
シチューだらけだよ WOW WOW
シチューだらけだよ

岸壁 (がんぺき) で 海を見ながら
唐突に 愛を叫び続け
けたたましい 酒のしずくを
飲み干す だけだった...

哀しき世を 嘆いていた...

僕は 生きてゆけるのだろうか...